

平成30年11月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成30年4月11日

上場会社名 株式会社ティムコ
 コード番号 7501 URL <https://www.tiemco.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 誠一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長 (氏名) 中山 芳忠

TEL 03-5600-0122

四半期報告書提出予定日 平成30年4月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年11月期第1四半期の業績(平成29年12月1日～平成30年2月28日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年11月期第1四半期	698	14.1	2		5		4	
29年11月期第1四半期	612	7.6	31		29		22	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年11月期第1四半期	1.97	
29年11月期第1四半期	9.20	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年11月期第1四半期	5,643	4,788	84.8	1,933.43
29年11月期	5,779	4,823	83.5	1,947.54

(参考)自己資本 30年11月期第1四半期 4,788百万円 29年11月期 4,823百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年11月期		0.00		12.00	12.00
30年11月期					
30年11月期(予想)		0.00		12.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年11月期の業績予想(平成29年12月1日～平成30年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,033	5.2	43		44		30		12.11

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年11月期1Q	3,339,995 株	29年11月期	3,339,995 株
期末自己株式数	30年11月期1Q	863,444 株	29年11月期	863,444 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年11月期1Q	2,476,551 株	29年11月期1Q	2,476,558 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したもので、実際の業績は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績見通し等に関する事項は、【添付資料】P3「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(自平成29年12月1日 至平成30年2月28日)における日本経済は、大手企業の生産活動や個人消費の底堅さを背景に需要の回復がみられるものの、米国の通商政策の不透明感や円高進行、労働需給のひっ迫に伴う人件費コストの増加などの懸念要素が企業の景況感を下押しすることとなり、消費は回復しているものの、力強さを欠く状況が続いております。

当社の関連するアウトドア関連産業においては、釣用品市場、アウトドア衣料品市場ともに、例年よりも気温が低下した影響等により景況が左右される展開となりました。

このような状況の中、当社では販売体制及び収益基盤の強化に取り組んでまいりました。この結果、当第1四半期の売上高は6億98百万円(前年同期比14.1%増)となりました。また、売上高の増加と売上総利益率の向上により売上総利益が増加し、営業利益は2百万円(前年同期間 営業損失31百万円)、経常利益は5百万円(前年同期間 経常損失29百万円)、四半期純損失は4百万円(前年同期間 四半期純損失22百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

(フィッシング事業)

フィッシング事業に関しては、冬期間の冷え込みにより、釣場に足を運ぶ機会が減少したことに伴い、全般に販売が伸び悩み苦戦いたしました。

ルアー用品に関しては、フィッシングロッド(釣竿)やルアー(擬似餌)等の新製品投入効果により売上高は堅調に推移しました。一方、フライ用品に関しては市場低迷の影響を受けて販売が苦戦いたしました。

その結果、当期におけるフィッシング事業の売上高は前期を下回り、1億66百万円(前年同期比5.1%減)となりました。また、値下げ販売等が増加したことにより、売上総利益が減少し、セグメント損失(営業損失)は3百万円(前年同期間 営業利益3百万円)となりました。

(アウトドア事業)

アウトドア事業に関しては、秋冬シーズン初頭からの気温の低温傾向により、引き続きジャケットなどの防寒重衣料の販売が好調に推移いたしました。その結果、当期におけるアウトドア事業の売上高は、5億24百万円(前年同期比22.2%増)となりました。また、売上総利益率が向上したことにより、セグメント利益(営業利益)は61百万円(前年同期比201.6%増)となりました。

(その他)

その他の主な内容は、不動産賃貸収入売上であります。当期に関しては、その他売上高は8百万円(前年同期比0.7%減)となりました。また、セグメント利益(営業利益)は6百万円(前年同期比0.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第1四半期会計期間末の資産は、前事業年度末に比べ1億36百万円減少し56億43百万円となりました。

流動資産は、季節的な影響による商品及び製品の増加60百万円などの一方で、有価証券が償還時期を迎えたこと等による減少1億円や受取手形及び売掛金の減少92百万円などの影響により、前事業年度末に比べ1億35百万円減少し、40億34百万円となりました。

固定資産は、有形固定資産や無形固定資産の減価償却などによる減少6百万円の方、新規店舗の保証金の増加4百万円などの影響により、前事業年度末に比べ1百万円減少し、16億9百万円となりました。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ1億1百万円減少し8億55百万円となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金の減少28百万円や未払消費税等の減少23百万円、未払費用の減少19百万円、未払法人税等の減少16百万円、返品調整引当金の減少16百万円などの一方で、賞与引当金の増加9百万円などにより、前事業年度末に比べ98百万円減少し、6億26百万円となりました。

固定負債は、退職給付引当金の増加2百万円などの一方で、長期リース債務の減少4百万円などにより、前事業年度末に比べ2百万円減少し2億28百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ34百万円減少し、47億88百万円となりました。これは主に、四半期純損失4百万円の発生や前事業年度決算の配当支出29百万円などによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成30年1月19日発表の「平成29年11月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」に記載の業績予想に変更はありません。

1. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年11月30日)	当第1四半期会計期間 (平成30年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,031,698	2,036,051
受取手形及び売掛金	565,002	472,202
有価証券	100,030	-
商品及び製品	1,420,311	1,480,907
その他	56,302	48,684
貸倒引当金	△4,167	△3,733
流動資産合計	4,169,178	4,034,112
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	570,645	563,039
土地	653,376	653,376
その他(純額)	22,170	27,202
有形固定資産合計	1,246,192	1,243,618
無形固定資産	37,666	33,547
投資その他の資産		
その他	327,504	333,188
貸倒引当金	△1,149	△1,149
投資その他の資産合計	326,355	332,039
固定資産合計	1,610,214	1,609,205
資産合計	5,779,393	5,643,318
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	507,383	479,371
未払法人税等	27,659	10,971
返品調整引当金	27,576	10,690
賞与引当金	-	9,212
その他	162,412	116,418
流動負債合計	725,031	626,664
固定負債		
退職給付引当金	132,412	134,738
その他	98,778	93,676
固定負債合計	231,190	228,415
負債合計	956,221	855,079
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,079,998	1,079,998
資本剰余金	3,861,448	3,861,448
利益剰余金	339,641	305,055
自己株式	△478,033	△478,033
株主資本合計	4,803,055	4,768,468
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	20,116	19,770
評価・換算差額等合計	20,116	19,770
純資産合計	4,823,171	4,788,239
負債純資産合計	5,779,393	5,643,318

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年2月28日)	当第1四半期累計期間 (自平成29年12月1日 至平成30年2月28日)
売上高	612,557	698,843
売上原価	343,424	389,190
売上総利益	269,132	309,653
返品調整引当金戻入額	28,551	27,576
返品調整引当金繰入額	9,143	10,690
差引売上総利益	288,540	326,539
販売費及び一般管理費	319,905	323,605
営業利益又は営業損失(△)	△31,364	2,933
営業外収益		
受取利息	218	338
受取配当金	558	559
為替差益	1,227	1,184
その他	192	266
営業外収益合計	2,197	2,349
営業外費用		
支払利息	73	-
その他	39	47
営業外費用合計	112	47
経常利益又は経常損失(△)	△29,279	5,235
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△29,279	5,235
法人税、住民税及び事業税	3,179	3,546
法人税等調整額	△9,664	6,557
法人税等合計	△6,485	10,103
四半期純損失(△)	△22,794	△4,868

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第1四半期累計期間(自 平成28年12月1日 至 平成29年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	調整額 (注)2	合計 (注)3
	フィッシング 事業	アウトドア 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	174,904	429,540	604,444	8,113	—	612,557
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	174,904	429,540	604,444	8,113	—	612,557
セグメント利益又は損失(△)	3,265	20,388	23,654	6,902	△61,920	△31,364

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△61,920千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に管理部門等の一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っています。

II 当第1四半期累計期間(自 平成29年12月1日 至 平成30年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	調整額 (注)2	合計 (注)3
	フィッシング 事業	アウトドア 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	166,011	524,775	690,786	8,056	—	698,843
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	166,011	524,775	690,786	8,056	—	698,843
セグメント利益又は損失(△)	△3,006	61,485	58,479	6,910	△62,456	2,933

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△62,456千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に管理部門等の一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っています。